

# 東雲夢通信

東雲中学校校長室通信

文責 校長 渡邊 和彦

平成三十年六月十五日発行第八号



## アメフラシの悲劇

雨が続きますね。梅雨ですものね。先日、妻と何気ない会話をしていたときに、思い出した悪事があります。私が子どもの頃、まだまだ、上浦には美しい海岸の砂浜がたくさん残っていました。最高の遊び場でした。ちよくちよく、足下に転がっていたのは、アメフラシです。ウミウシの仲間です。逃げません。鳴きません。抵抗もしない、この生物を、残虐にも蹴ったり棒で突いたりすると、紫色の鮮やかな液体を出します。唯一の防衛手段なのでしょう。この液を出すと「雨が降る」と言い伝えられており、部活動の練習が、「雨で休みにならないかな」と考えていた当時の情けない僕は、考え得る限りのひどい方法で、撲殺していました。石で叩きつぶしたり・言い伝え通り、雨が降ったことはほとんどなく、たとえ降ったとしても、室内練習で、晴天よりも過酷な練習内容だったりして・アメフラシ、今更ですが、ごめんね。今度生まれ変わるときは、てるてる坊主になつてね。



## 総合的な学習本格化

総合的な学習が本格化してきました。三年生は今、上浦の人口増加や、暮らしの向上、福祉の充実のために、中学生らしい奇想天外で大胆な発想で自分達に何ができるか、上浦の皆さんに提言できるか、考え始めています。上浦の長所、短所、残したいこと、変えたいことを付箋に書き込んで、グループピングしています。たくさんでるのは自然の美しさ・メリットとして上げられるのは津久見・佐伯への利便性。「お年寄り、ほっこりゾーン」としてしまいました。二年生は食と観光を盛り上げるためにどうすれば良いか考え行動し、アイデアを出します。一年生は上浦の人、文化、歴史を未来に残すために、何ができるか考え行動します。寒い時期になるとありますが「かみうら中学生サミット」として地域の方々をたくさんご招待して、研究成果を発表させて頂きますね！楽しみにして下さい。

## 毎朝見る光景

六時過ぎからの朝のワンコとの散歩では、道路を行き交う車両以外、人と出くわすことはあまりないのですが、近所に中学生がいて、運動部に入っているらしく、早朝から朝練習に出かける

ようなのです。彼のお母さんは、毎朝（たとえパジャマ姿でも）玄関の外に出て、自転車で学校へ向かう息子さんを見送ります。（十数メートル離れていくまで）私も中学生には挨拶をしますが、（パジャマ姿でノーマーク？）だからというわけでもないのですが、なんとなく、気恥ずかしくお母さんには挨拶できません。（ゴメンナサイ）

とつても良い光景だと思っております。彼がどんな中学生であり、この先、どんな青年に成長するのか・と思いません。私が出勤するとき、二匹のワンコ以外の、我が家の家人達は夢の中ですが、張り切つて行きます。



## 父の日に

期待すると期待外れになり落ち込むので、気にしないことにしている、父の日の贈り物です。自分の父親に、どうするか、今は「眼鏡でも新調してあげようか」とか思い煩うわけですが、よく考えると、喜寿×2、敬老の日×2、母の日、誕生日×2、盆、正月、クリスマス・「何回あるんかい！！！」とかぼやいたらダメですよ。